

# 一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年6月6日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項 1	1年ぶりに示された三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況について
具体的内容	三島駅南口東街区A地区市街地再開発事業は、現在7月31日の権利変換計画縦覧開始期目を目前に、組合による権利変換計画作成と実施設計が大詰めを迎えていると思われる。こうした中で去る6月1日、三島市は昨年6月から実に1年ぶりに事業の進捗状況を示す市民説明資料を公開した。その内容と関連事項について以下同う。
	1 工事費について
	(1) 価格交渉の進捗状況
	(2) 工事費高騰に対する国の新たな支援制度の内容と活用検討の理由、及び活用に伴う組合及び市の負担の有無
	2 市の権利変換等について
	(1) 廃止となる市道の取扱い
	(2) 従前価格に対する駐車台数と増床分負担額について
	(3) 市の補償費の算出基準と提示額および市の同意基準
質問事項 2	医療的ケア児およびその家族に対する支援の充実を求めて
具体的内容	令和3年9月18日「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行された。最近の厚労省の調査結果によれば、医療的ケア児（以下“医ケア児”）の家族の4割強が、医ケア児の退院前に病院や行政から「地域で利用できる支援制度の十分な説明がなかった」と回答している。市内医ケア児家族からは、依然「必要な情報が得にくい」「利用可能なサービス事業所探しに苦労する」などの声も聞かれる。法律施行から丸2年を前に、自治体の「責務」となった各支援措置における現状と課題とともに、支援充実にむけた方針や提案する市独自の支援策への見解等を伺う。
	1 同法律への認識について
	2 本市における医ケア児の状況について
	3 各施設での取組みの現状と課題（幼稚園・保育施設、小中学校、障害児通所支援）
	4 相談体制整備の現状について
	5 支援充実にむけた第3期障害児福祉計画策定の進捗状況
	6 市独自の支援策について（ex 名取市「医療的ケア児支援事業」、松坂市「医療的ケア児通院等交通費助成事業」、保険外医療費の助成）
質問事項 3	通過交通から歩行者をまもるゾーン30・ゾーン30プラスの促進を
具体的内容	三島警察署管内においては、2010年からの13年間を見ると、発生した人身事故における当事者歩行者の割合が6.2ポイントも増加している。他方、全国の交通事故統計によれば、歩行者や自転車の人身事故の発生割合は、幅員の狭い道路の方が高いことが明らかになっている。市民意識調査では例年、「歩道の整備」「生活道路の整備」が37項目中ワースト2である状況が続いていながら、短期間で一度に整備が進まない現状においては、生活道路において歩行者を守るために有効なあらゆる安全対策を強化することが必要と考える。その1つであるゾーン30及びゾーン30プラスの促進について、市の見解を伺う。
	1 市内で既に実施している2ヶ所（長伏区域、徳倉第5自治会・徳倉第6町内会区域）での実施状況と効果の検証について
	2 今後の市の方針と、各自治会・町内会等との連携について